

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
会議名 (審議会等名)	令和4年度 第1回 嬉野市伝統的建造物群保存地区保存審議会		
開催日時	2022年6月29日 14:30~15:30		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎 3階 3-2会議室		
傍聴の可否	可 <b>不可</b> 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由	コロナ禍のため、傍聴不可		
出席者	委員	伊東 龍一、大森 洋子、松尾 光一、森 繁晴、森四朗、杉光 敬一郎、坂本 紀美子、高嶋 郁子、森 聡子、峯崎 幸清 (欠席者、三島 伸雄、後藤 隆太郎、白濱 幸広、)	
	事務局	教育長 教育部長、教育総務課長、教育総務課副課長、教育総務課職員3名	
	その他	県文化課文化財保護室1名 設計士3名	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	(1) 議題 (2) 名簿 (3) 各種図面		
審議等の内容	別紙のとおり		

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
議 題	令和4年度事業について		
内 容	事務局より、今年度修理予定2件、市が購入した土地に建築する公開活用施設についての現況報告をおこなった。		
審議経過	事務局	<p><b>a 寺</b>                      前回の審議会から、特に変更無し。</p> <p>(質疑なし)</p>	
	事務局	<p><b>b 家土蔵</b>                      前回の審議会で、漆喰の復旧方法として議題に挙げたジョイント V について、当初全面に使用予定だったが、防水との観点から一部使用で良いと判断した。その他は通常の漆喰で修理を行う。</p> <p>(質疑なし)</p>	
	事務局	<p><b>公開活用施設建設</b>                      公開活用施設の進捗の説明。</p> <p>(質疑なし)</p>	
その他			

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
議 題	令和4年度 事業計画（追加要望）について		
内 容	事務局より、c家について概要説明をおこなう。c家は基本設計をした設計士が修理の詳細の説明をおこなう。		
審議経過	設計士	<p><b>c家</b></p> <p>土壁が落ちて危険な状態。玄関の屋根形状から雨漏りがあり、早急な修理が必要。構造はきれいな状態。問題は屋根の複雑さである。壁の漆喰に乗っているなので、漆喰も変える。外壁の塗装も一緒に行いたい。現状非特定物件となっている下屋は、所有者への聞き取りでは60～70年前なのは確実。</p>	
	事務局	<p>現在、非特定物件も修理したいとの施主の意向。設計士からの所見では、建築後すぐに増築したとのこと。事務局としては、特定物件に範囲を見直したいと考える。ご意見をお願いしたい。</p>	
	委員	<p>伝建選定時、特定物件から外された理由は？写真では瓦も同じに見えるが。</p>	
	県	<p>伝建選定前の調査時、復元図では破線となり、確定していない所である。選定後、調査・修理時に、グレーなところは再確認して特定物件か非特定物件か判断して欲しいとの意図があると思われる。</p>	
	委員	<p>建築当初には無かったが、早期に増築したとの根拠があれば、問題ない。</p>	
	設計士	<p>特定物件とする前に、修理するのは良いか。自費修理した上で特定物件とすることは良いか。</p>	
	委員	<p>伝建の制度に則った修理であればよい。</p>	

	<p>県</p> <p>委員</p> <p>設計士</p>	<p>特定範囲の見直しは、過去の修理では修理にあたって行ったことがある。教育委員会の告示で可能。</p> <p>主に瓦の吹替えで良いか。屋根の谷は、工夫はあるか。勾配や雨漏りの工夫をするように。</p> <p>現在ステンレスで谷を作っている。間を見て追加補修をする。過剰にすると洋館のモルタルを壊すこととなり配慮する。これは現状屋根に登れていない所見である。</p>
<p>その他</p>		

# 審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
議 題	令和5年度 事業計画（案）について		
内 容	事務局より、令和5年度以降の修理修景希望アンケートの結果について説明をおこなった。現地調査を実施した設計士が、物件の詳細を説明した。		
審議経過	設計士	<b>d社</b>	屋根上に桜の木が腐れて寄りかかる。伐採の許可は得ているため伐採する。雨樋もなく、腐れて危なく、打ち雨のため、高い位置で根継ぎを予定している。屋根もセメント瓦から吹きなおしとする。鉄筋の筋交いも撤去する。地震対策のため基礎は地覆石にホールダウン金物で固定する。何か他の方法等あれば教えてください。
	委員		高根継ぎとなるが、現柱は使えないのか。その部分まで傷んでいるのか。高根継ぎは考えものである。
	設計士		腰板の上まで傷んでいる。全て腐れているわけではない。雨樋もなく、今後の管理のためを考え、現状腐っていない所で根継ぎし、将来を考えた計画である。雨樋もなく、また現在と同様な腐朽することを心配している。
	委員		木造の伝統的建築は修理を繰り返すので、社寺でも少し低い所で根継ぎし持てている。個人的には、可逆性という意味では雨樋も付けて良い。使えるものは極力使い、1本でも多く残す努力が必要。
	設計士		林の中にある建物で、雨樋をつけてもすぐ詰まってしまう。
	委員		きちんと修理して残すことが必要。修理方法は、委員のとおりかなと思う。建築が明治時代の可能性すらあるということで、建物の状況を掘り下げてほしい。
	委員		古写真では屋根が二重に見えるがどうか。
	事務局		庇を誤認したと思われ、現況のままの構造と考えている。

	<b>e家</b>
事務局	本物件は居蔵家である。居蔵家については、嬉野市伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱において、審議会の承認により修理費の補助限度額 800 万円が 900 万円になりますので、その承認を頂ければと思います。
委員	2 階の窓はパラペット裏に残っているとのことだが、この物件は居蔵家で、時代も古いとのことだが、鴨居も敷居の高さもこの大きさか。元々小さい窓でガラス窓を導入した際に、大きさは変わっているのではないか。
設計士	工事途中で確認する。
委員	側面も単窓ではないか。現況の窓は大きくみえるが。
設計士	側面窓も単窓と思われる。
県	表構えは伝統的なすりあげ戸などである。実際に家を使うと難しいそうである。もちろん、町並みの貢献のためには伝統的な姿は良いが、古写真等を確認し、当初、中途の姿を確認し、施主の使い勝手を考慮し、折り合いも必要と思う。
事務局	居蔵家であり、上限額 800 万円を 900 万円に増額ということで承認してよいか。  一同異議なし、承認
設計士	<b>f家</b> 建物が歪み、隣の家に寄りかかっている。本人には立ち直しをした上で修理をお願いしている。鮮魚店を営業中で、現状大きな修理ができないとなっている。
委員	この建物は大きいようだが、どういう建物か。
事務局	元、割烹屋で、今は店舗兼住宅
委員	非常に良い場所にあり、修理して良くしてほしい。
その他	

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
議 題	その他		
内 容	事務局より街なみ環境整備事業について、説明する。		
審議経過	事務局	易操作消火栓は、令和3年度はg寺敷地内に3か所設置した。令和4年度事業としては、山下地区に防火水槽があるが、無蓋のため廃止できないかとの地元要望があったため、今回防火水槽を埋め立てて地下式消火栓を設置予定。h寺敷地内と浦田川沿いに易操作性消火栓を1基設置予定である。	
	委員	地区の水害対策が今後、必要であると考える。	
その他			